

江南市廃棄物減量等推進協議会 令和3年度第1回会議 会議録(概要)

●日時 令和3年7月13日(金) 午後1時30分～午後3時30分

●場所 江南市役所 3階 第三委員会室

●出席委員(22名)

会長	石井 進	副会長	埴田 惣一
委員	西部 茂夫	委員	尾関 委代子
委員	多湖 直希	委員	古田 みちよ
委員	川合 龍司	委員	大島 孝允
委員	前田 義和	委員	大塚 毅彦
委員	尾関 眞	委員	森 ケイ子
委員	中西 健仁	委員	古田 一二三
委員	八木 幸男	委員	岩井 喜美子
委員	中島 伸二	委員	大岩 直文
委員	黒岩 弘子	委員	高木 則雄
委員	阿部 枝美子	委員	松浦 大介

●欠席委員(4名)

委員	木村 嘉宏	委員	秦 公輝
委員	富山 賢二	委員	望月 晴夫

●事務局

環境課	課長	牛尾 和司
環境課	主幹	前田 茂貴
環境課	主任	米嵩 浩之

●会議経過

開 会

●事務局

本日は、「令和3年度第1回江南市廃棄物減量等推進協議会」を開催しましたところ大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様おそろいでございますので、只今から会議を始めさせていただきます。

会に先立ちまして、始めに、経済環境部長よりごあいさつを申し上げます。

●経済環境部長

<部長あいさつ>

●事務局

部長は、他の公務がございますので、ここで退席させていただきます、よろしくお願いいたします。

なお、本日の会議につきましては、新委員の方々による最初の会議となりますので、会長が選任されるまでの間、私が、お手元のレジメにそって、進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。以後、着座にて失礼します。

それでは、初対面の方もおいでになると思いますので一言ずつ自己紹介をお願いしたいと存じます。なお、時間の都合もがございますので、大変恐縮ではございますが、簡潔をお願いしたいと存じます。

<委員自己紹介>

ありがとうございました。

次に、事務局も、自己紹介をさせていただきます。

<事務局自己紹介>

議題①、役員を選出に移らせていただきます。

役員につきましては、本協議会設置要綱第6条の規定により会長・副会長は、委員の皆様の互選により、選出することになっておりますので、よろしくお願いいたします。

まず、会長の選出について、いかが取り図らせていただきましょうか。

●委員

推薦でしょうか。

●事務局

只今、「推薦」とのご発言がありましたが、いかがでしょうか。

●委員一同

異議なし

●事務局

異議なしとのことでございますので、どなたかの、ご推薦をお願いしたいと存じます。

●委員

石井委員を推薦します。

●事務局

石井委員を推薦しますとのご発言がございましたが、いかがでございましょうか。

●委員一同

異議なし。

●事務局

異議なしとのことでございますので、会長は、石井進 様にお願いをいたします。

次に、副会長の選出について、いかが取り図らせていただきましょうか。

●委員

推薦でしょうか。

●事務局

只今、「推薦」とのご発言がありましたが、いかがでしょうか。

●委員一同

異議なし

●事務局

異議なしとのことでございますので、どなたかの、ご推薦をお願いしたいと存じます。

●委員

埴田委員を推薦します。

●事務局

埴田委員を推薦しますとのご発言がございましたが、いかがでございましょうか。

●委員一同

異議なし。

●事務局

異議なしとのことでございますので、副会長は、埴田惣一 様にお願いをいたします。

それでは、会長・副会長はお席のご移動をお願いいたします。石井会長には席の移動と続いて就任のご挨拶をお願いいたします。

<会長あいさつ>

●事務局

会長が就任されましたので、以後の進行を会長の石井様にお願いしたいと存じます。よろしく  
お願いいたします。

●会長

それでは引き続き、議題を続行します

議題①の続きで、特別委員会についてです。特別委員会規約第2条に10名以内で組織し、委員長及び委員は協議会の互選によって選任することになっております。

まず、委員長について、どのように選出をさせていただきますでしょうかお諮りします、いかがでしょうか。

●委員

推薦でしょうか。

●事務局

只今、「推薦」とのご発言がありました、いかがでしょうか。

●委員一同

異議なし

●事務局

異議なしとのことですので、どなたかの、ご推薦をお願いしたいと存じます。

●委員

石井委員を推薦します。

●事務局

石井委員を推薦しますとのご発言がございましたが、いかがでございましょうか。

●委員一同

異議なし。

●事務局

異議なしとのことですので、委員長には私石井が務めさせていただきます。

次に、特別委員会の委員についてでございますが、従来から、委員は委員長より指名をさせていただきます。そのような方法で委員をお願いしてよろしいでしょうか。

●委員一同

異議なし

●会長

異議なしとのことですので、特別委員会の委員について、ご指名をさせていただきます。多湖直希委員、川合龍司委員、古田一二三委員、望月晴夫委員、黒岩弘子委員、高木則雄委員、阿部枝美子委員、松浦大介委員、それから私、石井で9名です。

続いて、議題②の令和3年度協議会事業計画（案）について事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

令和3年度事業計画（案）について事務局より説明がありましたが、ご質問等ございましたら、ご発言をお願いします。

意見ないようですので、お諮りいたします。

事務局案のとおりでよろしいでしょうか。お諮り致します。

<賛否を取る>

ご承認いただきましたので、事務局案のとおり進めていきます。今年度はこの計画に沿って事業を行っていきます。ご協力よろしくをお願いします。

続いて、議題③レジ袋削減推進委員会の寄付金についてです。事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

事務局より説明がありましたが、ご意見等ございますか。

意見ないようですので、お諮りいたします。

レジ袋削減推進委員会の寄付金について、事務局案のとおりでよろしいでしょうか。お諮り致します。

<賛否を取る>

ご承認いただきましたので、事務局案のとおり進めていきます。

次の議題に参ります。

続いて、議題④啓発事業についてです。事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

以上。事務局より説明ありましたが、ご意見等ございますか。

(質疑応答)

●委員

環境フェスタに代わる啓発事業ということで、一昨年度までは環境フェスタを実施し、昨年度、今年度は中止となっていますが、今後はどうするか考えていけないといけない。長く携わった立場から言わせていただくなれば、マンネリ化は否定できない現状である。個人的には昨今のコロナ禍を機に一度、間を置くなど検討してはどうか、と考える。そのため来年度も中止したほうがいいのではないかと。

●委員

マイクロプラスチックによる海洋汚染やプラスチックをごみとして出さないように努力するというのは難しい問題だと感じる。今後も新しいごみの問題は出てくると思うため、啓発事業を実施することにより、各家庭がごみを削減することは地球環境に優しく、将来のよりよい環境づくりになる、ということ認識していただけたら素晴らしいことだと思う。

●事務局

これまでは環境フェスタを実施することで啓発を行ってきたが、昨年度から開催できていない。理由としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点もあるし、市の財政的な要因も含まれます。環境フェスタの趣旨に則り、代わりに啓発を行っていきたいと考えている。ぜひ次回までにご意見・ご提案をいただければと思います。啓発の効果からみれば、大々的に集客

して実施することが望ましいが、現状では、不特定多数を集めるということは、なかなか難しい部分もあるかもしれません。環境フェスタが開催できないために市民に向けて啓発できない部分を環境問題やごみ減量について、どう啓発していくのかということの視点から考えていただいてご意見いただければ、次回8月の協議会の際に意見を集約してお示しさせていただいて、協議会として、今年度こういった啓発をやっていこうと決定していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

#### ●会長

家族で参加することによって、教科書で読むだけではなく、行動しながら環境の大事さを体に身につける、環境意識を強く持っていただくなど小さい子供たちには貴重な時間だと思う。そういう気持ちを強く若い世代の人に持っていただく事は大事なことで、是非今年度は実施できないが来年度以降そういう取り組みにご努力していただきたいと思っております。

意見も出揃ったようですので、次の議題に参ります。

議題⑤のその他について事務局より説明をお願いします。

#### ●事務局

その他について2点あります。

環境フェスタについては昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に開催中止となり、今年度も中止になりました。その背景としてはコロナ禍ということもありますが、昨年度江南市は、各種イベントについて全庁的に見直しがありました。色々な基準が示されまして、イベントの実施の妥当性という点では集客人数や費用対効果の基準が出ました。集客人数の基準では環境フェスタは5千人～6千人規模ですので基準から外れています。費用対効果ですが他のイベントと比べてコスト的には、全22イベントある中で半分よりも下です。ひとまずは令和3年度は休止、令和4年度以降については実施主体でもある廃棄物減量等推進協議会の中で今後どうしていくべきか、ということを経験していきということとなりました。次回8月の協議会の際に、環境フェスタを来年度以降どうしていくのかということを経験していただきたいと思っております。委員が言われたようにマンネリ化という話もあるため、見直し方針としては

隔年開催や、内容の見直しによって費用を削減できないかというような考え方が示されており  
ます。それらも含めてこの協議会の中で議論していただき、ご意見を頂戴し、最終的には予算  
が付くかどうかの判断になってくると思いますので、次回 8 月 23 日の協議会の際にご意見を  
伺いたいと思しますのでよろしくお願いします。

もう一点、江南市は長い間ごみ減量の取組みに関して進めており、愛知県の中でもごみの減  
量が進んでいる市という立場ですが、朝の立ち当番ができない、朝に資源ゴミが出せない、他  
市町では一部の資源ゴミを袋に入れて出せる市町も多いので、江南市でもやって欲しいという  
環境課や市への要望などが最近増えています。ただし、逆に現状の資源ゴミの収集の方法がい  
いという意見もあるのは確かです。廃棄物減量等推進協議会の委員は 2 年任期ですので、この  
2 年間で多く意見をいただき、議論いただきたいと思います。すぐには結論を出せない内  
容であり、様々な社会情勢などもありますので、そういった情報もお伝えしながら、委員には  
区長の立場の方も、廃棄物処理事業者の方もいらっしゃいますので、多くの分野の方が在籍し  
ているためぜひこの議題を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

#### ●会長

紙類、ビン、金属などは昔からリサイクルシステムが出来ている廃棄物でしたが、ペットボ  
トルなどは比較的新しいもので、プラスチックではあるけど、分けて収集することで、再利用  
が可能になる。細かく分別することによってリサイクルの可能性が出てくると思います。その  
面で現状の月 2 回の資源ゴミ収集日のようにきちんと分別がされていればリサイクルはしや  
すくなる。袋に入れて出す場合は万が一混ざってしまっていると分別作業をしなければいけな  
い。鉄などは容易に分別できるかもしれませんが、ビンの色は茶色、透明、青緑色、黒色と分  
けないといけない。それからプラスチックについては容器包装、トレイ、発泡スチロールなど  
種類が多い。委員のみなさまのご意見ありましたらよろしくお願いします。

#### ● 委員

資源ゴミの際、雨天でも新聞紙や雑紙を出されることが多いが、水分を含んでいると、その  
後の処理は問題ないか。



●事務局

紙は濡れていてもリサイクルには問題ありません。布類だけは濡れると良くないです。

他のものは濡れても支障ありません。ただし、剪定枝・草は袋の下に水が溜まってしまうため、フタが付いています。剪定枝・草が濡れて再生利用できないということではありません。

●委員

古紙と古布の業者としてですが、紙は濡れても溶かすため大丈夫ですが、あくまで雨で濡れる程度というものです。例えば水に浸ってしまった新聞紙などは困難です。

ちなみにここ数年で新聞紙・雑誌の流通量は劇的に減っています。以前の1/3、1/4という量しか発生していません。

●会長

剪定枝・草ですが、堆肥化处理していると思うが、どこかへ委託しているのか。

●事務局

剪定枝・草については集積場から収集したものを、大口町の民間事業者の処理施設に持って行き、チップ化しております。そのチップについては、堆肥化事業者へ市から売払いという形で堆肥化を実施しております。江南市内には堆肥化施設はございません。

●委員

ペットボトルキャップを取らない方が多い。付いたままでいいのか。

●事務局

ペットボトルのキャップについてはプラスチック製容器包装類となるため外していただきたい。

●委員

もっとよくわかるように看板やポスターなど対応できないか。

●事務局

分かりにくいということですので、対応させていただきます。

●委員

昨年度より雑紙の品目拡充を行うようになり効果はどうか。

## ●事務局

令和2年4月から汚れた紙以外は全部雑紙で出せるようになりました。PRしていきたいと思っていた矢先に新型コロナウイルス感染症の流行が始まってしまったため、非常にPRが困難でした。結果的に令和2年度において雑紙は令和元年度に比べて112%収集することができました。可燃ごみとして処理する量が減り、資源ごみとして再生する量が増えると二重に市にとってはいいこととなりますのでぜひご協力をお願いします。

## ●委員

雑紙の件について、古紙を扱う事業者の立場から意見を言います。

汚れた紙以外は雑紙としてリサイクルできる、というのは静岡のある製紙メーカーのみで行っているものです。従来雑紙を集めていた王子製紙グループに持ち込むと返品されてしまう。そこは理解してもらわないといけない。近隣ですと小牧市もやっていますが、まだまだ少数、ほとんどは従来の集め方をしているため、他のところへ影響がないようにしてほしい。

## ●事務局

静岡にあるコアレックスというトイレットペーパーを作っているメーカーが行っています。工場見学にいくと、金属やプラスチックなどが付いていても攪拌処理されて出てきます。皆さんの分別の手間が省け、ごみ減量に繋がります。この辺りですと小牧市、あと瀬戸市が行っています。ごみの減量を図りたいという試みです。ご理解いただきながらやっていきたいと思っていますのでお願いします。

## ●会長

時間もありますので、3に報告事項に移ります。事務局から報告事項があります。

3. 報告事項について事務局お願いします。

### <事務局説明>

- ・令和2年度ごみ減量「57運動」実施事業報告について
- ・令和2年度江南丹羽環境管理組合ごみ搬入量について
- ・令和3年度一般廃棄物処理実施計画について

## ●会長

4. その他、ご意見があればお願いします。

●事務局

プラスチックごみ海洋プラスチックの問題に取り組むということで手作りですが「プラスチックごみが戻ってきちゃう」というポスターを作成し、商工会議所ニュースに折り込んで、市内の各事業所で掲示してもらおうという活動をしていきます。

●委員

一般廃棄物処理実施計画ですが、昨年度と今年度でどれくらい減らす目標なのか、もう一つは資源化率というのはこの計画の中にはないのか。

●事務局

一般廃棄物処理実施計画は廃棄物の処理及び清掃に関する法律の第 6 条の基づいて作っており、長期の計画を定める基本計画と、1 年ごとの実施計画を作成しています。様式については国から示されていますので記載する項目には限りがあります。

リサイクル率ですが令和元年度ですが、江南市は 25.2%、愛知県では 10 万人以上の都市で 4 位、一番高い小牧市は 37%になっています。1 人 1 日あたりのごみ排出量は江南市 734g、愛知県 10 万人以上の都市では 1 位です。処理しなければならないごみの 1 日あたりの量 559 g で 1 位。1 人 1 日あたりの家庭系ごみの量は 10 万人以上の都市で豊橋市に次いで 2 位で 431 g。これらは愛知県が算出しています。

●会長

他に意見も無いようですので、これもちまして、協議会を終了させていただきます。

本日は、長時間にわたりご審議を賜り、ありがとうございました。